ふるさときらり

勝間田小学校だより 特別号
令和5年11月1日発行

「きらり」いっぱいの学校ですね！

10 月 27 日（金）に牧之原市の教育長さんや教育委員さん、教育文化部長さん、各課の課長さんたちが学校を訪問してくださいました。インフルエンザで２年生、４年生、６年生が学級閉鎖をしていたため、みやま学級、１年生、３年生、５年生の授業を見ていただきました。

参観後、橋本教育長さんからは、「勝間田小学校は子供たちや先生方のきらりがあふれていて、すばらしい。伸びていく可能性がいっぱいだね。」とお言葉をいただきました。吉住教育委員さんは、「楽しい学校ですね。授業が子供たちの生活や地域とつながっていて、よく工夫されていますね。子供たちの表情が素敵です。」と感心されていました。そのほかの方々からも、子供たちのきらりを見つけていただきました。うれしいお言葉をたくさんいただいたので、紹介させていただきます。

私はコンビニエンスストアーを経営していますが、５年生の食品ロスのポスターを見て、すごく感激しました。私も、お客さんが棚から商品をとる時は、後ろからではなく、前から取ってほしいなあと思っていたからです。子供たち一人ひとりが課題意識をもって、よく調べて考えているなあと思いました。11 月４日（土）の文化展での発表を楽しみにしています。

（教育委員　寺井さん）

１年生のクラスでは、きらりがたくさん掲示されて、びっくりしました。６年生からのきらりには、読み仮名がふられていて、やさしい学校だなあと思いました。

３年生のうなずきながら友達の話を聞いている姿がいいなあと思いました。とても話しやすい雰囲気があって、子供たちが生き生きとしていました。

（教育委員　池ヶ谷さん）

子供たちが「～じゃんね」と積極的に発表し、聞いている子供たちの反応もいいなあと思いました。お互いによく学び合っている姿が見られ、感心しました。小学校の主体的な姿を中学につなげていきたいなあと思いました。
子供たちがICTを上手に使っていてびっくりしました。
（教育委員　渡辺さん）

みやま学級の掲示がすごく丁寧で温かいなあと思いました。エコキャップ集めを算数や図工とつなげていて、意欲的に学ぶ姿が見られました。
１年生の表情が生き生きしていて、楽しんで音読をする姿がいいなあと思いました。
３年生の授業では、教師が教えるよりも子供たちによく考えさせていました。活気がありました。
５年生は端末を上手く使いながら、体験や対話を取り入れて学びを深めていました。表現力や発信力が高まっているなあと感心しました。

（教育文化部長　内田さん）

勝間田小は温かい地域の人々に支えられていて、地域のよさを上手く授業に取り入れているなあと感心しました。総合的な学習の時間（ふるさと学習）ではどの学年も地域に出て、地域から学び、地域に貢献しようとしている姿が素晴らしいなあと思いました。また、学級閉鎖中の先生方が授業の補助に入るなど、先生方のチームワークのよさも感じられ、素敵だなあと思いました。
ありがとうございました。
（学校教育課長　中村さん）

本当にうれしい言葉がいっぱいですね。これからも、子供たちの「きらり」があふれる勝間田小学校の授業をみんなで作っていきたいです。ありがとうございました。